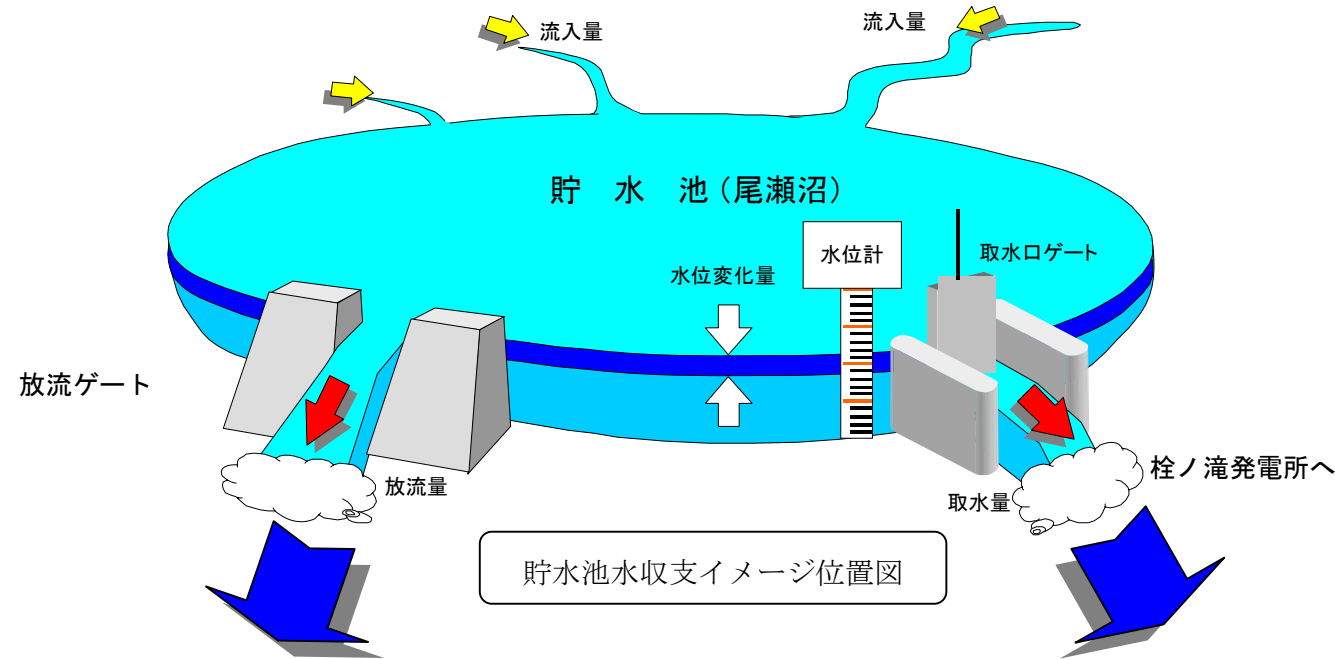


栓ノ滝発電所貯水池への流入量算定における技術的課題の概要

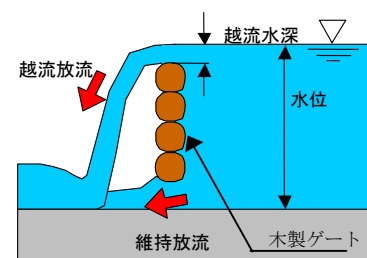
【栓ノ滝発電所】

所在地	群馬県利根郡片品村
認可出力	2,800kW
有効落差	73.08m
最大取水量	4.70m ³ /s
運転開始	昭和16年12月



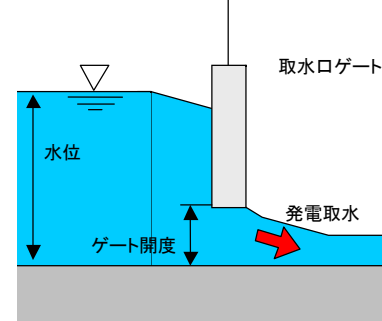
放流量

木製ゲートを越流する場合の水位と底部からの維持流量の合計で算出。



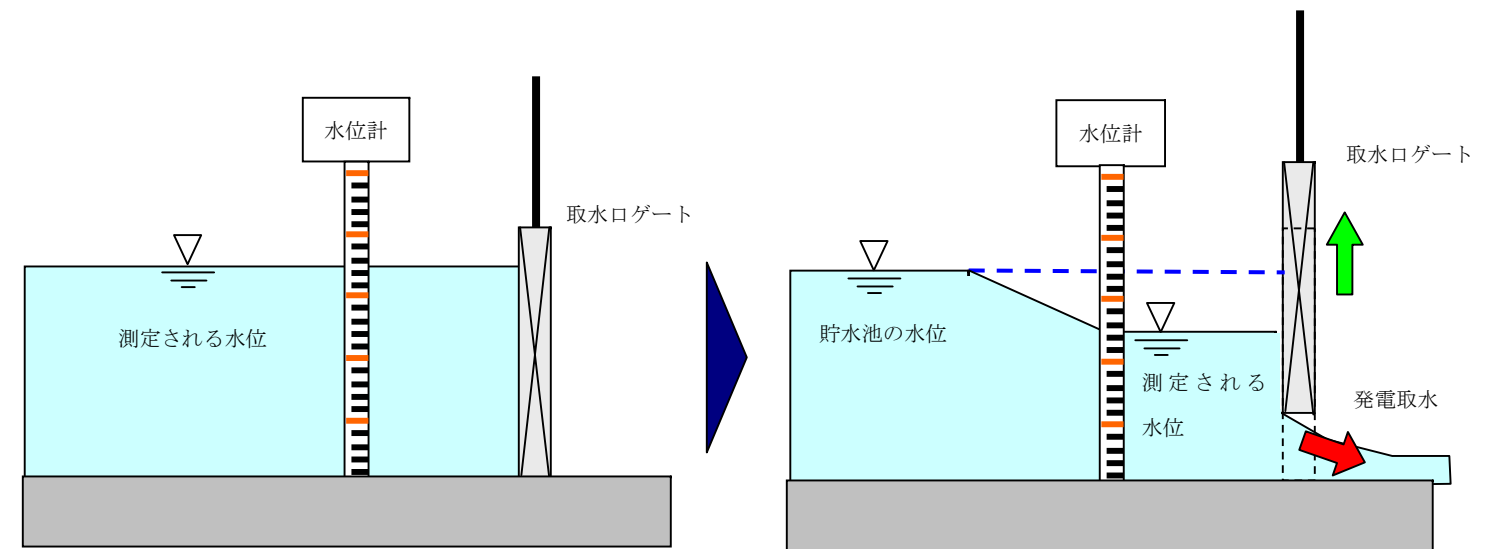
取水量

ゲート開度と貯水池の水位により算出。



【技術的課題の概要】

- 栓ノ滝発電所の貯水池（尾瀬沼）では、水位の変化に伴う貯水量の増減と、発電所への取水量、放流ゲートからの放流量の差分から流入量を算出しているが、貯水池の湛水面積が大きいと水位の僅かな変化が流入量の算出に与える影響が大きい。
- 特に、取水中は、取水口の水位計近傍において、水の流れにより水位差が発生し、実際の貯水池水位より低い値が測定されることから、流入量が負の値として算出される場合がある。
- このような場合、水位を補正して報告しており、今回、実測値と報告値が異なっていることから抽出された。
- データの計測精度の限界からくる異常値を補正しようとしていたものであるが、今後の取り扱いについては社内で方針を明確化したうえ当局にもご説明し、対処していきたい。



取水をしていない場合

取水を行い水の流れにより水位差が発生した場合

取水口断面図